Microsoft® Windows Vista™ Business

NFC

インストール補足説明書

for Express5800/51Lc,53Xc,54Ca,54Xd,56Xc

目次

0	はじめに	3
	■ Express5800/51Lc について	3
	■ Windows Vista へのアップグレードについて	3
1	Windows Vista インストール手順概略	3
2	Windows Vista をインストールするための準備	4
	■ インストールに必要なもの	4
	■ NEC 差分モジュールのダウンロードについて	4
3	注意事項	5
	■ ライセンス認証の手続きについて	5
	■ NEC 差分モジュールがサポートしているオプションボード	5
	■ システムのアップデートについて	5
	■ ディスク構成について	5
	■ MO装置について	5
	■ DAT 等のメディアについて	5
	■ BIOS のアップデート	5
	■ 作成するパーティションサイズについて	6
4	Windows Vista のインストール	7
5	システムのアップデート	10
6	ドライバのインストールと詳細設定	15
	■ ネットワークドライバ	15
	■ オプションのネットワークのドライバ	16
	■ サウンドドライバ	17
	■ グラフィックスアクセラレータドライバ	18
	■ SCSI コントローラ(N8103-95)を追加接続する場合	18
7	障害処理のためのセットアップ	19
	■ メモリダンプ(デバッグ情報)の設定	19
	■ ユーザーモードプロセスダンプの取得方法	23
8	ライセンス認証の手続き	24
9	トラブルシューティング	25
10	Windows Vista for Express5800/51Lc,53Xc,54Ca,54Xd,56Xc 対応 NEC 差分モジュールで適用される	
	モジュールについて	28

0 はじめに

本手順書は、Express5800シリーズ「Express5800/51Lc,53Xc,54Ca,54Xd,56Xc」で使用するオペレーティングシ ステム「Microsoft® Windows Vista™ Business 32-bit(x86) Edition 日本語版」(以降、「Windows Vista」と呼ぶ) をインストールする方法について記述しています。

Windows Vista をインストールする前に、必ず最後までお読みください。



重要 Windows Vista for Express5800/51Lc,53Xc,54Ca,54Xd,56Xc 対応 NEC 差分モジュールは、 Express5800/51Lc.53Xc.54Ca.54Xd.56Xc 対応の専用モジュールです。 他の装置ではご使用できません。

■ Express5800/51Lc について

Express5800/51Lc は Windows Vista の要件を満たせないため Windows Vista の AERO 機能をご利用いた だくことは出来ません。

Windows Vista へのアップグレードについて

<u>Windows XP から Windows Vista へのインプレースアップグレードは推奨しません。</u>

Windows Vista をご使用になる場合は「Windows Vista のインストール」(本書)を参照し、事前に必要なユーザ データのバックアップを取り、Windows Vista をインストールしなおしてください。

また、Windows Vista 32-bit(x86)Editionから Windows Vista 64-bit(x64)Edition や Windows Vista 64-bit (x64) Edition から Windows Vista 32-bit(x86) Edition のインプレースアップグレードはできません。



ヒント インプレースアップグレードとは、既にインストールされている Windows XP や Windows Vista (32-bit(x86)Edition/ 64-bit(x64) Edition) 自身を Windows Vista(32-bit(x86)Edition/ 64-bit (x64) Edition)へ上書きアップグレードすることです。

1 Windows Vista インストール手順概略

Windows Vista のインストール方法概要図を次に示します。 必ず新規インストールを実施してください。

BIOS のアップデートおよび BIOS Setup を実施する

Windows Vista のインストールを開始する

システムのアップデート

ドライバの詳細設定を行う

障害処理のためのセットアップ

2 Windows Vista をインストールするための準備

■ インストールに必要なもの

Windows Vista インストールを開始する前に、次の媒体と手順書がそろっていることを確認してください。

 Windows Vista for Express5800/51Lc,53Xc,54Ca,54Xd,56Xc 対応 NEC 差分モジュール (以降、「NEC 差分モジュール」と呼ぶ)

『NEC8番街』<u>http://nec8.com</u> – [サポート情報]–[→ワークステーション]–[·ダウンロードサービス]

- Microsoft® Windows Vista[™] Business インストール補足説明書 for Express5800/51Lc,53Xc,54Ca,54Xd,56Xc(本書)
- Microsoft 社製 OS インストールメディア
 ※別途ご購入が必要です。(以降、「Windows Vista DVD-ROM」と呼ぶ)
 - 重要 Windows Vista for Express5800/51Lc,53Xc,54Ca,54Xd,56Xc 対応 NEC 差分モジュールは、 Microsoft® Windows Vista[™] Business 32-bit (x86) Edition をサポートしていますので、 Microsoft® Windows Vista[™] Business 64-bit(x64) Edition の OS インストールメディアは用意 する必要はありません。
- Express5800 シリーズをお買い上げ時に添付されているもの
 - EXPRESSBUILDER CD-ROM
 - ユーザーズガイド
 (EXPRESSBUILDER CD-ROM の中のマスターコントロールメニューから「オンラインドキュメント」を 参照してください)

■ NEC 差分モジュールのダウンロードについて

「システムのアップデート」を行うときは、あらかじめ次の手順で Express5800/51Lc,53Xc,54Ca,54Xd,56Xc 対応の NEC 差分モジュールをダウンロードしてください。

 次の URL の OS 関連のページを参照し、Express5800/51Lc,53Xc,54Ca,54Xd,56Xc 対応 の NEC 差分モジュールをダウンロードしてください。

『NEC8番街』<u>http://nec8.com</u> ー [サポート情報] – [→ワークステーション] – [・ダウンロードサービス] を参照し、入手してください。

モジュールをダウンロード後、ハードディスク上の任意のフォルダに展開する。
 (例:C:¥TEMP)

チェックダウンロード先のフォルダには、空白文字を含むフォルダは指定できません。

3 注意事項

Windows Vista をインストールする前に注意事項をよく読んでください。

■ ライセンス認証の手続きについて

Windows Vista のライセンス認証を行う際に使用するプロダクトキーは、COA ラベルに記載されたプロダクト ID と一致させる必要があります。

詳細は「ライセンス認証の手続き」(本書)を参照し確認してください。

重要 • インストールしてから 30 日以内にアクティベーションを行ってください 30 日間を過ぎると、システムがロックされる場合があります。

COA ラベルは本体に貼り付けられている場合もあります。

■ NEC 差分モジュールがサポートしているオプションボード

NEC 差分モジュールでサポートしているオプションボードは、以下になります。

- NEC 差分モジュールにて OS のインストールをサポートしているボード
 なし
- その他のオプション
 - N8103-95 SCSI コントローラ (Express5800/53Xc,54Ca,54Xd,56Xc のみサポート)

■ システムのアップデートについて

システムのアップデートは Express5800 シリーズに必要なドライバを適用します。必ず NEC 差分モジュールを 使って、システムをアップデートしてください。

■ ディスク構成について

ディスク領域に、「EISA 構成」と表示された領域が存在する場合があります。 構成情報やユーティリティを保存するための保守用パーティションです。削除しないでください。

■ MO装置について

インストール時に MO 装置を接続したままファイルシステムを NTFS に設定すると、ファイルシステムが正しく変換されない場合があります。ファイルシステムが正しく変換されなかった場合は、MO 装置を外してインストールを最初からやり直してください。

■ DAT 等のメディアについて

セットアップでは、DAT 等のインストールに不要なメディアはセットしないでください。

■ BIOS のアップデート

Windows Vista をインストールするためには、Windows Vista 用 の BIOS のアップデートが必要な場合があ ります。BIOS が必要かどうかは、『NEC8番街』<u>http://nec8.com</u> – [サポート情報] – [→ワークステーショ ン] – [・ダウンロードサービス] を参照し、対応モジュールの有無を確認してください。 また、アップデート手順に関しては、各装置の BIOS ダウンロード時の紹介文、およびダウンロードデータに含 まれる「Readme.txt」を参照してください。

■ 作成するパーティションサイズについて

システムをインストールするパーティションのサイズは、次の計算式から求めることができます。

Windows Vista 32-bit (x86) Edition の場合

インストールに必要なサイズ + ページングファイルサイズ + ダンプファイルサイズ + ハイバネーション用サイズ + アプリケーションサイズ

=	6,200MB
=	搭載メモリサイズ × 1.5
=	搭載メモリサイズ + 300MB
=	搭載メモリサイズ
=	任意
	= = = =

- 重要
 上記ページングファイルサイズはデバッグ情報(ダンプファイル)採取のための推奨サイズです。ブートボリュームには、ダンプファイルを格納するのに十分な大きさの初期サイズを持つページングファイルが必要です。また、ページングファイルが不足すると仮想メモリ不足により正確なデバッグ情報を採取できない場合があるため、システム全体で十分なページングファイルサイズを設定してください。
 - 1 つのパーティションに設定できるページングファイルサイズは最大で 4095MB です。搭載メ モリサイズ×1.5 倍のサイズが 4095MB を超える場合は、4095MB で設定してください。
 - 搭載メモリサイズが 2GB 以上の場合のダンプファイルサイズの最大は「2048MB+300MB」 です。
 - その他アプリケーションなどをインストールする場合は、別途そのアプリケーションが必要と するディスク容量を追加してください。

例えば、搭載メモリサイズが 512MB の場合、パーティションサイズは、前述の計算方法から

6,200MB + (512MB × 1.5) + 512MB + 300MB + 512MB + アプリケーションサイズ = 8,292MB + アプリケーションサイズ

となります。

システムをインストールするパーティションサイズが「インストールに必要なサイズ + ページングファイルサイ ズ」より小さい場合はパーティションサイズを大きくするか、ディスクを増設してください。ダンプファイルサイズを 確保できない場合は、次のように複数のディスクに割り当てることで解決できます。

- 1)「インストールに必要なサイズ + ページングファイルサイズ」を設定する。
- 2) 本書の「障害処理のためのセットアップ」を参照して、デバッグ情報(ダンプファイルサイズ分) を別の ディスクに書き込むように設定する。

ダンプファイルサイズを書き込めるスペースがディスクにない場合は「インストールに必要なサイズ + ページ ングファイルサイズ」でインストール後、新しいディスクを増設してください。 4 Windows Vista のインストール

ここでは、Windows Vista 32-bit (x86) Edition_の新規インストール方法について説明します。

① システムの電源を ON にする。

重要 Windows Vista 用の BIOS のアップデートが必要な場合は、アップデートを行ってください。BIOS が必要かどうかは『NEC8番街』<u>http://nec8.com</u>-[サポート情報]-[→ワークステーション]-[・ダウンロードサービス]を参照し、対応モジュールの有無を確認してください。

ディスプレイ装置の画面に POST (Power On Self-Test)の実行内容が表示されます。 (「NEC」ロゴが表示された場合は<Esc>キーを押してください。) しばらくすると、次のメッセージが画面左下に表示されます。

Press <F2> to enter SETUP

② <F2>キーを押し、BIOS Setup メニューの「Advanced」→「Installed O/S」を「PnP O/S」に設定する。設定方法は機種によって異なりますので、詳しくは装置の BIOS ダウンロードデータに含まれる「Readme.txt」を参照してください。

BIOS Setup メニューの「Exit」→「Exit Saving Changes」を選択し、[Yes]を選択してシステムを再起動させる。

- ③ 本体の光ディスクドライブに Windows Vista DVD-ROM をセットする。
- ④ システムを再起動する。

<Ctrl>+<Alt>+キーを押すか、電源を OFF/ON し再起動してください。

DVD-ROM からシステムが起動します。

Windows のインストール画面が表示されなかった場合は、〈Enter〉キーが正しく押されていません。 システムの電源を ON し直してから始めてください。

- ⑤ [Windows のインストール] 画面が表示されたら、言語とその他の項目を入力してから [次へ]を クリックする。
 - (1) [今すぐインストール]と表示されるので、クリックする。
 次に、Windows のインストールに必要な情報を収集します。
 - (2) [ライセンス認証のためのプロダクトキーの入力]画面で、プロダクトキーを入力し [次へ]をクリックする。
- ⑥ [ライセンス条項をお読みください。] 画面で、条項の内容を確認する。

同意する場合は、[条項に同意します]にチェックを入れ[次へ]をクリックします。

重要 ハードディスク上に起動可能な OS がインストール済みの場合は、画面上部に「Press any key to boot from CD or DVD...」が表示されている間に<Enter> キーを押してください。起動可能な OS が存在しない場合は不要です。

- ⑦ [インストールの種類] 画面で、インストールの種類を選択する。 ここでは、[カスタム(詳細)] をクリックします。
- ⑧ [Windows のインストール場所を選択してください] 画面で、[ドライブオプション(詳細)]-[新規]を クリックする。

重要 既にパーティションを作成している場合は、インストールするパーティションを選択し、¹⁰ へ 進んでください。

- ⑨ インストールするパーティションサイズを指定し[適用]をクリックする。
- ① [Windows のインストール場所を選択してください] 画面で、作成したパーティションを選択し [次へ] をクリックする。

次のメッセージが表示され、Windows のインストールが開始します。

Windows のインストール中 必要な情報はすべて集まりました。インストール中にコンピュータは数回再起動されます。 □ Windows ファイルのコピー中 □ ファイルの展開中 □ 機能のインストール中 □ 更新プログラムのインストール中 □ インストールの最終処理の実行中

① Windows のインストール後、Windows のセットアップを開始する。

画面の指示に従って必要な設定や表示内容を確認し[次へ]をクリックし進めてください。

- ユーザー名・パスワードを入力する。
- コンピュータ名を入力する。
- Windows を自動的に保護するよう設定する。
- 時間と日付の設定の確認をする。
- 本装置の現在の場所を選択する画面が表示される場合があります。
 適切な場所を選択してください。
- ① 「ありがとうございます」のメッセージが表示されるので [開始]をクリックする。

Windows Vista 画面が表示されます。 パスワードを入力し、システムにログオンします。

光ディスクドライブから、Windows Vista DVD-ROM を取り出してください。

システムのアップデートを参照してシステムのアップデートを行う。

ヒント 登録されている拡張子を表示する場合、次の手順を参考にしてください。

① スタートメニューから[コンピュータ]をクリックする。



(W) ドライバのインストールと詳細設定を参照してドライバのインストールと詳細設定をする。

5 システムのアップデート

Windows Vista のインストール後、必ず以下の手順でシステムのアップデートを行ってください。 システムのアップデートは Express5800 シリーズに必要なドライバを適用します。

NEC 差分モジュールをダウンロードしていない場合は、「Windows Vista をインストールするための準備」の 「NEC 差分モジュールのダウンロード」を参照し、ダウンロードしてください。

- 重要 次の場合も必ずシステムのアップデートをしてください。
 - システム構成を変更した場合 (内蔵オプションの機器の取り付け/取り外しをした場合。システム構成を変更した後、再起動を 促すダイアログボックスが表示される場合は[いいえ]をクリックし、システムをアップデートして ください。)
 - バックアップ媒体からシステムをリストアした場合
 - 本装置のBIOSセットアップユーティリティを使って「Hyper-Threading Technology」の設定を変更した場合(プロセッサに関する設定項目です。)
- ① スタートメニューから[コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]をクリックする。



② [ユーザーアカウント]をクリックする。



③ 次の画面が表示されるので、[ユーザーアカウント制御の有効化または無効化]をクリックする。



- ④ [ユーザーアカウント制御]画面の内容を確認し、[続行]をクリックする。
- ⑤ 次の画面で、[ユーザーアカウント制御(UAC)を使ってコンピュータの保護に役立たせる]のチェックをはずし [OK]をクリックする。



⑥ [今すぐ再起動する]をクリックし、システムを再起動する。



⑦ システムにログオン後、以下を実行するとセットアップメッセージが表示されます。

<展開先フォルダ名>¥WINNT¥VISTA¥UPDATE.VBS

⑧ メッセージの内容を確認し、[OK]をクリックする。



システムのアップデートが開始します。

⑨ 次のメッセージが表示されたら、システムのアップデートは終了なので[OK]をクリックする。



システムが再起動し、Windows Vista 画面が表示されます。

- 10 パスワードを入力し、システムにログオンする。
- ① スタートメニューから[コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]をクリックする。



12 [ユーザーアカウント]をクリックする。

			0.0
 ・コントロールパネ 	ル・ユーザーアカウント・	↓ 4 p <	م
コントロール パネルホーム システムとメンテナンス セキュリティ	ビーザー アカウント クガウントの法領の反差 Windows / (スワードの発表	コーザー アカウントの通知または制味	
ネットワークとインターネッ ト ハードウェアとサウンド プログラム	Windows CardSpace オンライン サービスへのログ	オンに使用される情報カードの証拠	
 ユーザーアカウント デスクトップのカスタマイズ 			
時計、業語、および地域 コンピュータの簡単操作			
その他のオプション			
032908#			
1			
間括のタスク			
「ユーザーアカウントの通知車 たは新知			

③ 次の画面が表示されるので、[ユーザーアカウント制御の有効化または無効化]をクリックする。

▼ 4p 検索	
(1997)	
Adminis /tz:2-	strator - r-d#3#



15 [今すぐ再起動する]をクリックし、システムを再起動する。



以上でシステムのアップデートは完了です。

6 ドライバのインストールと詳細設定

本装置標準装備の各種ドライバのインストールとセットアップを行います。 ここで記載されていないドライバのインストールやセットアップについてはドライバに添付の説明書を 参照してください。

■ ネットワークドライバ

標準装備のネットワークドライバは、自動的にインストールされますが、転送速度とDuplex モードの設定が必要です。また、IP アドレスを設定する際、[インターネットプロトコル(TCP/IP)]のチェックボックスが外れている場合、チェックを付けてから IP アドレスの設定を行ってください。

ヒント サービスの追加で、[ネットワークモニタ]を追加することをお勧めします。[ネットワークモニタ] は、[ネットワークモニタ]をインストールしたコンピュータが送受信するフレーム(またはパケット)を 監視することができます。ネットワーク障害の解析などに有効なツールです。インストールの手順 は、ユーザーズガイドを参照してください。

必要に応じてプロトコルやサービスの追加/削除をしてください。[ネットワーク接続]からローカルエリア接続の プロパティダイアログボックスを表示させて行います。

<オプションのネットワークドライバの設定手順>

(LOM が Intel の場合)

- 1. デバイスマネージャを起動する。
- 2. ネットワークアダプタの(Intel(R) PRO/1000 ~)をダブルクリックする。
- 3. [詳細設定]タブをクリックし、[リンク速度とデュプレックス]設定をハブの設定と同じ値に設定する。
- 4. [Intel(R) PRO/1000 ~ のプロパティ] ダイアログボックスの[OK]をクリックする。
- 5. コマンドプロンプトから[E1G60I32.BAT]を実行する。
 - スタートメニューから[検索開始]に「 cmd 」と入力し、<Enter>キーを押す。 コマンドプロンプトを起動します。
 - ② 次を入力し、フォルダを指定する。
 - (例)NEC 差分モジュールを C ドライブの TEMP フォルダに展開した場合 (下線部分は、ご使用の環境によって異なります):

C:¥xxx¥xxx>cd C:¥TEMP¥WINNT¥VISTA¥TL3¥REG¥WIN32

※ xxx はご使用のユーザー名が表示されます。

③ [E1G60I32.BAT]と入力し、<Enter>キーを押す。

C:¥TEMP¥WINNT¥VISTA¥TL3¥REG¥WIN32>E1G60I32.BAT

プロンプトが戻りましたら、更新は完了です。

④ [EXIT]と入力し、<Enter>キーを押し コマンドプロンプトを終了します。
 <u>C:¥TEMP</u>¥WINNT¥VISTA¥TL3¥REG¥WIN32>EXIT

以上で完了です。

(LOM が Broadcom の場合)

- 1. デバイスマネージャを起動する。
- 2. ネットワークアダプタの(Broadcom NetXtreme Gigabit Ethernet)をダブルクリックする。 [Broadcom NetXtreme Gigabit Ethernet のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。
- 3. [詳細設定]タブをクリックし、[Speed & Duplex]をハブの設定値と同じ値に設定する。
- 4. [Broadcom NetXtreme Gigabit Ethernet のプロパティ]ダイアログボックスの[OK] をクリックする。

以上で完了です。

■ オプションのネットワークのドライバ

オプションのネットワークボード(N8104-111/119/120/112/121)を使用する場合について説明します。

「N8104-111/119/120/112/121」を使用する場合は、NEC 差分モジュールに格納されているドライバを インストールしてください。

(Express5800/51Lc の場合)

[N8104-111]のボード名のドライバ [<展開先フォルダ名>: ¥WINNT¥VISTA¥TL3¥PRO100¥WIN32]

(Express5800/53Xc,56Xc の場合)

[N8104-111]のボード名のドライバ [<展開先フォルダ名>: ¥WINNT¥VISTA¥DL1¥PRO100¥WIN32]

[N8104-112/119]のボード名のドライバ [<展開先フォルダ名>: ¥WINNT¥VISTA¥DL1¥PRO1000¥WIN32]

(Express5800/54Ca,54Xd の場合)

[N8104-111]のボード名のドライバ [<展開先フォルダ名>: ¥WINNT¥VISTA¥DL1¥PRO100¥WIN32]

[N8104-112/119/120/121]のボード名のドライバ [<展開先フォルダ名>: ¥WINNT¥VISTA¥DL1¥PRO1000¥WIN32]

<オプション用ネットワークドライブのインストール>

オプションボード用のネットワークドライバのインストール手順を次に示します。

- 1. デバイスマネージャを起動する。
- 2. [Intel(R) PRO/1000~または Intel(R) PRO/100~]をダブルクリックする。

ダイアログボックスが表示されます。

3. [ドライバ]タブを選択し、[ドライバの更新]をクリックする。

[ドライバソフトウェアの更新 - Intel(R) PRO/(1000 または 100)~]が表示されます。

4. [コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索する(R)]をクリックする。

5. 検索するソフトウェアの欄に、以下を入力し [次へ]をクリックする。

(Express5800/51Lc の場合)

[N8104-111]のボード名のドライバ [<展開先フォルダ名>: ¥WINNT¥VISTA¥TL3¥PRO100¥WIN32]

(Express5800/53Xc,56Xc の場合)

[N8104-111]のボード名のドライバ
 [<展開先フォルダ名>: ¥WINNT¥VISTA¥DL1¥PRO100¥WIN32]
 [N8104-112/119]のボード名のドライバ
 [<展開先フォルダ名>: ¥WINNT¥VISTA¥DL1¥PRO1000¥WIN32]

(Express5800/54Ca,54Xd の場合)

[N8104-111]のボード名のドライバ
 [<展開先フォルダ名>: ¥WINNT¥VISTA¥DL1¥PRO100¥WIN32]
 [N8104-112/119/120/121]のボード名のドライバ
 [<展開先フォルダ名>: ¥WINNT¥VISTA¥DL1¥PRO1000¥WIN32]

ドライバの検索が開始され、検索後にインストールが始まります。 しばらくすると、[ドライバソフトウェアが正常に更新されました。] 画面が表示されます。

- 6. [閉じる]をクリックする。
- 7. システムを再起動して下さい。

以上で完了です。

■ サウンドドライバ

Express5800/53Xc, 54Ca の場合

標準装備のサウンドドライバは、システムのアップデートでインストールされます。 システムの修復や再セットアップの際は、再度システムのアップデートを行ってください。

Express5800/51Lc, 54Xd, 56Xc の場合

手動インストールのみのサポートとなりますので、システムのアップデート適用後、 次の手順でサウンドドライバのインストールを行ってください。

<手動インストール手順>

- 下記のファイルをダブルクリックする。
 [<展開先フォルダ名>:¥WINNT¥VISTA¥SOUNDMAX¥SETUP.EXE]
- Windows セキュリティの POPUP メッセージが表示する場合がありますが、 [インストール]をクリックする。

以上で完了です。

■ グラフィックスアクセラレータドライバ

N8005-90/N8005-FS06A/N8005-FS08/N8005-FS09/N8005-FS11/N8005-FS12 を使用する場合は、 『NEC8番街』 <u>http://nec8.com</u>よりグラフィックスアクセラレータドライバをダウンロードしてインストールしてくだ さい。

■ SCSI コントローラ(N8103-95)を追加接続する場合

システムに SCSI コントローラ(N8103-95)を追加接続する場合、OS のプラグアンドプレイ機能が動作し、ドライ バが自動でインストールされます。特に作業は必要ありません。

7 障害処理のためのセットアップ

障害が起きたとき、より早く、確実に障害から復旧できるように、あらかじめ次のようなセットアップをしておいてください。

■ メモリダンプ(デバッグ情報)の設定

本体内のメモリダンプ(デバッグ情報)を採取するための設定です。 次の手順に従って設定します。

ヒント・メモリダンプの注意

- メモリダンプの採取は保守サービス会社の保守員が行います。お客様はメモリダンプの設定のみを行ってください。
- ここで示す設定後、障害が発生し、メモリダンプを保存するために再起動すると、起動時に仮 想メモリが不足していることを示すメッセージが表示される場合がありますが、そのまま起動し てください。起動し直すと、メモリダンプを正しく保存できない場合があります。
- 1. スタートメニューから[コントロールパネル]をクリックする。

[コントロールパネル]ウィンドウが表示されます。

2. [コントロールパネル]ウィンドウから[システムとメンテナンス]をクリックする。

ヒント クラシック表示にしている場合は、[コントロールパネル]から直接[システム]をクリックしてく ださい。

- [システム]をクリックする。
 [システムのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。
- 4. [システムの詳細設定]をクリックする。



5. [起動と回復]ボックスの[設定]をクリックする。

Administrator	at the	tore in	Souther	ロ 更はできません。
1074-524			+ HUCK	
GERCARPE. 7	1290	1-1. 96104	. EXUIREA	HEES.
ユーザー プロフ ログオン/2階級	+04 したデスタトゥナ	17x		
				152(E)
EMANDER				
92 748 6	97.74月8年。	およびデパック目的	6	Jag n
				1841222004

- 6. テキストボックスにデバッグ情報を書き込む場所を入力し、[OK]をクリックする。
 - <Dドライブに「MEMORY.DMP」というファイル名で書き込む場合> D:¥MEMORY.DMP

Windows Vista			
さオペレーティングシステムの一覧を表示する時間にな	30	뉁	初間
三正確なときに修復サブンに、を表示する時間(0)	100	121	হায়
274 17-			
図システム ロリにイベントを書き込む(M)			
2) 自動がたに再発動がする(2)			
デバック情報の書き込み			
₩全x10 //1 +			
SUT Trille			
DWMEMORYDMP			
		1	

ヒント

Windows Vista 32-bit(x86) Edition の場合

- デバッグ情報の書き込みは[完全メモリダンプ]を指定することを推奨します。ただし、搭載メモリサイズが 2GB を超える場合は、[完全メモリダンプ]を指定することはできません(メニューに表示されません)。その場合は、[カーネルメモリダンプ]を指定してください。
- 本装置に搭載しているメモリサイズ+300MB 以上(メモリサイズが 2GB を超える場合は、2048MB+300MB 以上)の空き容量のあるドライブを指定してください。
- メモリ増設により搭載メモリサイズが 2GB を超える場合は、メモリ増設前にデバッグ情報の書き込みを[カーネルメモリダンプ]に変更してください。また、メモリ増設により採取されるデバッグ情報(メモリダンプ)のサイズが変わります。デバッグ情報(メモリダンプ)の書き込み先ドライブの空き容量を確認してください。

[パフォーマンス]ボックスの[設定]をクリックする。
 [パフォーマンスオプション]ウィンドウが表示されます。

ステムのプロパティ			
11/21-94 11-19717	SHERE 9771	LOINUS VE-F	
Administrator としてログ・ 1973年 - モンス 後期336年、プロセッサの、	むんない場合は、これ ストジュール、メモリ他	1608242088178178144 A. 24068249	
ユーザー ブロファイル ログオンに開始したデスク	197 9 3	[DED	Ð
ENALESS 92712800, 92718	NB、およびディシクロ	and Like	n
		環境変形的4	-
	OK	1640-1244	BIFIN

8. [パフォーマンスオプション]ウィンドウの[詳細設定]タブをクリックする。



9. [仮想メモリ]ボックスの[変更]をクリックする。



10. [選択したドライブのページングファイルサイズ]ボックスの[初期サイズ]を推奨値以上に変更し、[設定]を クリックする。



- ・ 上記ページングファイルサイズはデバッグ情報(ダンプファイル)採取のための推奨サイズです。ブートボリュームには、ダンプファイルを格納するのに十分な大きさの初期サイズを持つページングファイルが必要です。また、ページングファイルが不足すると仮想メモリ不足により正確なデバッグ情報を採取できない場合があるため、システム全体で十分なページングファイルサイズを設定してください。
 - ●「推奨値」については、本書「注意事項」の「作成するパーティションサイズについて」の 項を参照してください。
 - メモリを増設した際は、メモリサイズに合わせてページングファイルを再設定してください。
- 11. [OK]をクリックする。

設定の変更内容によってはシステムを再起動するようメッセージが表示されます。 メッセージに従って再起動してください。

■ ユーザーモードプロセスダンプの取得方法

ユーザーモードプロセスダンプは、アプリケーションエラー発生時の情報を記録したファイルです。

アプリケーションエラーが発生した際は、エラーが発生した旨を伝えるポップアップを終了させずに、以下の方法 にてユーザーモードプロセスダンプを取得してください。

- 1. タスクバー上の空いている場所を右クリックして[タスク マネージャ]をクリックするか、<Ctrl> + <Shift> + <Esc>キーを押下して[タスク マネージャ]を起動します。
- 2. [プロセス]タブをクリックします。
- 3. ダンプを取得するプロセス名を右クリックし、[ダンプ ファイルの作成]をクリックします。
- 4. 次のフォルダにダンプファイルが作成されます。

C:¥Users¥(ユーザー名)¥AppData¥Local¥Temp

ユーザーモードプロセスダンプが作成されたら、上記 4 のフォルダより取得してください。

ユーザーモードプロセスダンプの取得方法の詳細は、以下の Microsoft 社のサポート技術情報を参照してください。

「Windows Vista でユーザーモード プロセス ダンプを取得する方法」 http://support.microsoft.com/kb/931673/ja

ビント Windows Vista では、ワトソン博士は [問題のレポートと解決策] に変更されており、従来のワトソン博士によるクラッシュダンプファイルを取得することができません。 クラッシュダンプファイルと同等レベルの情報は、上記の方法で取得できます。

8 ライセンス認証の手続き

Windows Vista をご使用いただくためには、Windows Vista のライセンス認証の手続きが必要です。ライセンス認証 済みか確認し、必要であれば手続きを行ってください。

ライセンス認証の手続きを次に示します。

1. スタートメニューから[検索の開始]に、「 slui 」と入力し<Enter>キーを押す。

重 要	のメッセージが表示されたら、ライセン 続きの必要はありません。[閉じる]をク	ス認証済みです。 リックして終了してください。
	 Windowsのライセンス認証 	
	ライセンス認証に成功しました ライセンス認証は、お使いの Windows のコピーが正規で 証するのに役立ちます。正規の Windows Vista [™] のコピー 彩な更新プログラムすべてや製品サポートを Microsoft か とができます。 医気します。	あるごとを検 -で、利用可 ら受け取るご オンラインで Software

2. 次のメッセージにしたがって、ライセンス認証の手続きを行う。



9 トラブルシューティング

Express5800 シリーズが思うように動作しない場合は修理に出す前に次のチェックリストの内容にしたがって Express5800 シリーズをチェックしてください。

リストにある症状に当てはまる項目があるときは、その後の確認、処理にしたがってください。 それでも正常に動作しない場合は、ディスプレイ装置の画面に表示されたメッセージを記録してから、保守サービス 会社に連絡してください。

なお、ここに上げている症状は Windows Vista にて新たに発生するトラブルシューティングです。その他の症状につきましては、お手持ちのユーザーズガイドを参照してください。



Windows Vista のインストールが終わったときに、以下のようなイベントログが登録され ている場合がある

ソース	:	Microsoft-Windows-WMI
種類	:	警告
イベント ID	:	63
説明	:	プロバイダ WmiPerfClass は LocalSystem アカウントを使う
		ために Windows Management Instrumentation 名前空間
		root¥cimv2 に登録されました。このアカウントには特権があり、
		プロバイダがユーザー要求を正しく偽装しない場合はセキュリティ
		違反が起こる可能性があります。

→ システム運用上、問題ありません。

ソース	:	Microsoft-Windows-Time-Service

	敬止
•	
	:

- イベント ID : 134
- 説明 : 'time.windows.com,0x9' での DNS 解決エラーのため、 NtpClient でタイムソースとして使う手動ピアを設定できません でした。15 分後に再試行し、それ以降は再試行間隔を2倍に します。エラー: そのようなホストは不明です。(0x80072AF9)

→ システム運用上、問題ありません。

ソース	:	PlugPlayManager
種類	:	警告
イベント ID	:	263
説明	:	サービス 'ShellHWDetection' は停止する前に、デバイス イ
		ベント通知の登録解除を行っていない可能性があります。

→ システム運用上、問題ありません。

ソース : Microsoft-Windows-Dhcp-Client 種類 : 警告 イベント ID : 1003					
説明 : ネットワークアドレスが 001617818175 のネットワーク: 対して、ネットワーク(DHCP サーバー) から割り当てられ ドレスを書き換えることができませんでした。次のエラー 生しました:この操作はユーザーによって取り消されました ネットワークアドレス(DHCP) サーバーから引き続き、ア スの取得を試みます。	カードに ぃたア が発 た。。。 'ドレ				
→ システム運用上、問題ありません。					
ソース : Microsoft-Windows-Search 種類 : 警告 イベント ID : 1008					
説明 : Windows Search Service では、占いカタロクを削除し しています。	しようと				
→ 定常的に発生していなければ システム運用上、問題ありません。					
ソース : Microsoft-Windows-SpoolerSpoolss 種類 : 警告 イベント ID : 1036					
説明 : InitializePrintProvider はプロバイダ inetpp.dll で失敗した。このエラーは、システムが不安定になるか、またはシムリソースが不足している場合に発生することがあります	しまし יステ す。				
→ ネットワークに接続してください。 有効なネットワーク接続が確認できず、初期化できなかった場合に登録 されます。ネットワークに接続しておくことで、回避することができます。					
ソース : Microsoft-Windows-Security-Licensing-SLC 種類 : 警告 イベント ID : 1054					
説明 : コンポーネント エラーです。hr=0x80049E00, [4, 3]					
一 システム理用上、回避のツません。					
ソース:Microsoft-Windows-User Profiles Service種類:警告イベント ID:1530説明:レジストリファイルは他のアプリケーションまたはサービ 用されています。ファイルはすぐにアンロードされます。L	、 スで使 ノジス				
これ以降正しく機能しない可能性があります	- ハ ιみ				

→ システム運用上、問題ありません。

- ソース : Microsoft-Windows-Windows Defender
- 種類 : 警告
- イベント ID : 3004
- 説明 : Windows Defender リアルタイム保護エージェントで、変更が 検出されました。これらの変更を行ったソフトウェアに潜在的リ スクがないか分析することをお勧めします。これらのプログラ ムの動作方法に関する情報を使用して、これらのプログラム の実行を許可するか、コンピュータから削除するかを選択でき ます。プログラムまたはソフトウェア発行者を信頼できる場合 のみ、変更を許可してください。Windows Defender は許可さ れた変更を元に戻せません。

→ システム運用上、問題ありません。

ソース	:	VSS
種類	:	エラー

イベント ID : 8194

説明 : ボリューム シャドウ コピー サービス エラー: IVssWriterCallback インターフェイスを照会中に予期しないエラーが 発生しました。hr = 0x80070005。このエラーは通常、ライタまたはリ クエスタ プロセスのセキュリティの設定が正しくない場合に発生しま す。

→ 定常的に発生していなければ システム運用上、問題ありません。

ソース	:	b57nd60x
レベル	:	警告
イベント ID	:	4

- 説明 : Broadcom NetXtreme Gigabit Ethernet: The network link is down. Check to make sure the network cable is properly connected.
 - → オンボード(On board)に LAN ケーブルを接続していない場合、 システム起動時に上記のイベントログが記載されますが、LAN ドラ イバの動作上問題はありません。

10 Windows Vista for Express5800/51Lc,53Xc,54Ca,54Xd,56Xc 対応 NEC 差分モジュールで適用されるモジュールについて

NEC 差分モジュールで適用されるモジュールは、次の通りです。

1	b57nd60x.sys(9.36.0.0)	: ネットワークドライバ(BroadCom BCM5721ドライバ) 対象機種:Express5800/53Xc,54Ca,54Xd,56Xc
2	e1g60i32.sys(8.1.50.0)	: ネットワークドライバ(Intel 82547GIドライバ) 対象機種:Express5800/51Lc
3	smwdm.sys(5.12.1.5470)	: SoundMAX Integrated Digital Audio サウンドドライバ 対象機種:Express5800/53Xc,54Ca,54Xd
4	necras.sys (Ver5.22.5.0) necras.sys (Ver5.22.4.0)	:対象機種:Express5800/ 51Lc,53Xc,54Xd,56Xc :対象機種 Express5800/54Ca
5	REVCHK.HTA (Ver2.1)	: NEC 差分モジュール サポート対象全装置